

平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム  
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 高田 一信

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	579	1.4	56	770.1	55	—	36	—
27年9月期第1四半期	571	18.9	6	—	4	—	3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	16.77	—
27年9月期第1四半期	1.47	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第1四半期	1,539	478	31.1	219.08
27年9月期	1,546	441	28.5	202.30

(参考)自己資本 28年9月期第1四半期 478百万円 27年9月期 441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,050	2.5	160	—	150	—	100	—	45.82
通期	2,250	2.1	440	597.4	420	693.1	240	397.3	109.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期1Q	2,513,800 株	27年9月期	2,513,800 株
28年9月期1Q	331,583 株	27年9月期	331,583 株
28年9月期1Q	2,182,217 株	27年9月期1Q	2,182,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融政策を背景に、輸出関連企業を中心に収益の改善がみられ、雇用状況の改善など、回復基調で推移しております。

一方、当社の主要販売先である外食企業におきましては、一部個人消費に明るさが戻るなど、回復傾向が見られるものの、円安による輸入食材価格の高騰、人手不足を背景とした人件費の上昇傾向及び、中食市場の拡大などにより、当社の事業領域においては、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は大手外食チェーンを中心に従来からのASPサービスを核とした、トータルソリューションシステムの提供と、前事業年度にリリースを行ったパッケージ型の基幹業務システム「飲食店経営管理システム(R)」に関して、規模を問わずあらゆる業態店舗、または中食、仕出し弁当業及び給食事業に対する販売活動に注力してまいりました。

その結果、地道な営業努力等により、売上高は579,435千円(前年同四半期比1.4%増)となりました。利益面に関しましては、利益率の高い「飲食店経営管理システム(R)」の販売が貢献したことにより、営業利益56,176千円(前年同四半期比770.1%増)、経常利益55,469千円(前年同四半期比1020.0%増)、四半期純利益36,597千円(前年同四半期比1037.1%増)の大幅増益となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

## ① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規獲得及び既存顧客へのサービスの拡大と、「飲食店経営管理システム(R)」の販売に注力した結果、売上高は277,566千円(前年同四半期比12.0%増)と、順調に拡大いたしました。

また、月額サービス料は3ヶ月累計で263,717千円(前年同四半期比9.7%増)と順調に推移しております。

## ② システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーシステムの新規顧客獲得、既存顧客へのバージョンアップに注力した結果、売上高は264,031千円(前年同四半期比9.3%減)となりました。

## ③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社製品の販売等を行った結果、売上高は37,837千円(前年同四半期比16.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、1,539,099千円となり、前事業年度末に比べ7,301千円減少いたしました。主な増減は、流動資産では、貯蔵品13,587千円の増加があった一方で、売掛金61,234千円の減少がありました。固定資産においては、主にソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の計上により20,588千円増加しました。また、流動負債では買掛金51,804千円の減少がありました。純資産につきましては、四半期純利益の計上により478,082千円となり、36,616千円増加いたしました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローにより得られた資金や、投資活動及び財務活動により使用した資金により、前事業年度末に比べ7,919千円増加し、当第1四半期会計期間末には307,453千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、62,263千円(前年同四半期は得られた資金51,289千円)となりました。これは主に税引前四半期純利益55,469千円の計上や、売上債権が減少57,923千円、仕入債務が51,264千円減少したことなどによる、資金の増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、45,944千円(前年同四半期は使用した資金1,500千円)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出42,069千円による資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、8,400千円(前年同四半期は使用した資金23,329千円)となりました。これは、長期借入金の返済による資金の減少であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は引き続き、従来からのASPサービスを核としたトータルソリューションシステムの提供と、パッケージ型の基幹業務システム「飲食店経営管理システム(R)」の販売活動に注力してまいります。平成28年9月期の業績予想につきましては、平成27年11月12日付の「平成27年9月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	340,034	349,453
売掛金	212,377	151,142
商品	375,428	378,689
貯蔵品	23,168	36,756
前渡金	15,120	14,580
前払費用	20,392	22,391
繰延税金資産	35,451	29,411
未収入金	4,742	15,000
その他	964	957
貸倒引当金	△6,403	△4,904
流動資産合計	1,021,275	993,477
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,660	7,315
工具、器具及び備品(純額)	57,192	52,729
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	77,380	77,380
有形固定資産合計	162,661	157,854
無形固定資産		
ソフトウェア	81,834	100,263
ソフトウェア仮勘定	57,234	63,721
電話加入権	2,445	2,445
無形固定資産合計	141,513	166,430
投資その他の資産		
出資金	139	133
長期前払費用	147,722	147,694
敷金及び保証金	19,326	19,326
繰延税金資産	22,377	22,801
長期未収入金	74,321	74,321
その他	10,308	10,398
貸倒引当金	△53,740	△53,740
投資その他の資産合計	220,455	220,935
固定資産合計	524,631	545,220
繰延資産		
社債発行費	494	402
繰延資産合計	494	402
資産合計	1,546,401	1,539,099

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	176,975	125,170
短期借入金	611,000	611,000
1年内償還予定の社債	24,000	24,000
1年内返済予定の長期借入金	50,400	50,400
未払金	31,820	37,567
未払費用	9,757	11,773
未払法人税等	8,353	15,226
預り金	8,659	18,263
前受金	52,329	46,776
賞与引当金	16,251	3,933
その他	6,484	13,548
流動負債合計	996,032	957,660
固定負債		
社債	21,000	21,000
長期借入金	66,000	57,600
退職給付引当金	21,903	24,756
固定負債合計	108,903	103,356
負債合計	1,104,935	1,061,017
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	8,223	44,820
自己株式	△248,286	△248,286
株主資本合計	441,398	477,996
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67	86
評価・換算差額等合計	67	86
純資産合計	441,465	478,082
負債純資産合計	1,546,401	1,539,099

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	571,364	579,435
売上原価	380,233	377,427
売上総利益	191,130	202,008
販売費及び一般管理費	184,674	145,831
営業利益	6,456	56,176
営業外収益		
雑収入	1,208	1,952
営業外収益合計	1,208	1,952
営業外費用		
支払利息	1,958	2,352
支払保証料	225	215
その他	528	91
営業外費用合計	2,712	2,659
経常利益	4,952	55,469
税引前四半期純利益	4,952	55,469
法人税、住民税及び事業税	433	13,266
法人税等調整額	1,300	5,605
法人税等合計	1,734	18,871
四半期純利益	3,218	36,597



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	4,952	55,469
減価償却費	19,652	19,280
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,031	△1,498
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,941	△12,317
退職給付引当金の増減額(△は減少)	679	2,853
支払利息	2,184	2,567
売上債権の増減額(△は増加)	62,288	57,923
たな卸資産の増減額(△は増加)	△102,058	△16,848
仕入債務の増減額(△は減少)	55,567	△51,264
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△6,562	△14,641
その他の流動負債の増減額(△は減少)	32,280	29,498
その他	809	△150
小計	54,821	70,872
利息の支払額	△1,797	△2,202
法人税等の支払額	△1,735	△6,406
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>51,289</b>	<b>62,263</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△2,375
無形固定資産の取得による支出	—	△42,069
定期預金の預入による支出	△1,500	△1,500
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,500</b>	<b>△45,944</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	412,200	450,000
短期借入金の返済による支出	△435,300	△450,000
長期借入金の返済による支出	—	△8,400
その他	△229	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△23,329</b>	<b>△8,400</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26,460	7,919
現金及び現金同等物の期首残高	452,868	299,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	479,328	307,453

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。